
*** 俺の家には猫又が住み着いている。 ***

松谷螢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

* 俺の家には猫又が住み着いている。*

【Nコード】

N6352H

【作者名】

松谷螢

【あらすじ】

人間×猫又のお話。今でこそ俺達は幸せだが、それは期限付き。けれど、それを上回る幸せな思い出を貴方に…

(前書き)

BLです！

俺の家には猫又が住み着いている。

猫又、それは猫が長生き過ぎて尻尾が二本になって、更に人間に化ける妖怪ってやつだ。

勿論こんな事ナチュラルに他人に話したりはしないが、俺の家で普通に猫として暮らしてる。

時々五月蠅いのが玉に瑕だな…

まあ、いろんな経緯があつて。

今では化け猫の恋人が俺の傍で笑ってる。

何故か、まあ、絆された、って言った方が妥当だな、これは。

俺は元々動物、泣く子にはかなり弱い。

というか、寧ろ動物が好きすぎて、ペットショップなんかもやっていたりする。

親戚にはからかわれた。敵つい顔をして人間相手に商売が勤まるのかと。

商売のほうは繁盛とまで行かないが、中々いい売り上げだ。

本業の方は他の者に任せてるから心配はない。自由な生活だ。

まあ、それもこれも。俺の恋人のお陰だな。

あ、そうそう。動物と泣く子に関しては、コイツはドンピシャ)

死語) だった。

容姿、性格共に俺には好みに当て嵌まり過ぎた。

奇麗過ぎる容姿に群がる虫ドモを駆除するのは、実に骨が折れた
思い出がある。今思い返しても、苦虫を噛み潰すような感覚だ。

「…あの。この子、近くの公園で拾ったのですけど…」

「またか」

「じ、ごめんなさい…」

そして恋人は、子猫やら子犬やら、傷ついた雛を持ってきては世話を
話をして、新しい飼い主を探したりなんかもする。

あれ？今何匹居るんだっけ？

六匹くらいいたなあ…

「まあ、一匹増えた所で変わんないけどな」

「え！それじゃ！」

今飼っている動物は、犬二匹に猫四匹。

不思議とこいつらは喧嘩しない。この恋人のお陰なのだろうか…

「まあこんな雪の中。放って置くわけにもいかないしな」

「ありがとうございます！」

そして、よかったねえと子犬に笑い掛ける柔らかい笑顔。

俺はコイツのこの顔が、堪らなく好きだ。

一度だけこの恋人を悲しみに泣かせてしまった事があるが、今でも胸が引き裂かれそうになる。今でこそ俺達は幸せだが、それは期限付き。

今ではないが、必ず別れが訪れる。

あの世にまでこの恋人を連れて行くことはできないから。

俺が生きていける限り、この恋人を幸せに、この恋人に幸せな思い出を…

そう言ったら、泣かせてしまった。

俺が人以外のものになれたら、とは思うが。

とても俺には出来そうも無い。

だから、あなたに精一杯の。

俺からの幸せ。

思い出を、あげたいと思う。

END

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6352h/>

* 俺の家には猫又が住み着いている。 *

2011年1月13日03時48分発行